

会議録（案）

会議の名称	平成29年度 第4回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	平成29年12月4日（水） 午後7時から午後8時40分
開催場所	保谷庁舎 別途A会議室
出席者	委員：赤澤委員長、廣瀬副委員長、有賀委員、岸上委員、中平委員、 西田委員、山本委員、中村委員、島田委員 事務局：栗林文化振興係長、圓田文化振興係主事
議題	1 平成29年度 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について 2 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案）について 3 文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案）について 4 「平成29年度 施策・事業評価（平成28年度分）」調査結果について 5 その他
会議資料の名称	【配付資料】 資料1 平成29年度第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案） 資料2 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案） 資料3 文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>《開会》</p> <p>1 平成29年度 第3回西東京市文化芸術振興推進委員会会議録（案）について</p> <p>○委員長： ・議事録に対する修正はあるか。</p> <p>○事務局： ・第3回の出席者で有賀委員が抜けていたので追加させていただく。</p> <p>○委員長： ・他に修正事項がなければ承認いただいたとし、確定とさせていただく。</p> <p><全員承認></p>	

2 西東京市文化芸術に関するアンケート調査（案）について

- ・事務局より、前回からの修正事項について説明。
 - ・追加で問21にアスタ 2 階センターコートを追加する趣旨を説明。
- 委員：
- ・5 ページの文化的な活動の定義について、学校での授業などが外されているのは教育の調査で代替するという理解でよいか。また、生涯学習講座やワークショップも学校におけるものか。
- 事務局：
- ・その通りである。
- 委員：
- ・回答者は学校の授業などが除かれていることを疑問に思わないか。他の調査で代替することを説明した方がよいのではないか。
- 委員：
- ・生涯学習やワークショップが学校でのことであれば、説明を丁寧にした方がよい。
- 委員：
- ・学校での体験は含まないことを明記の上、省いた理由を書けばよいと思う。
- 事務局：
- ・分かりやすいように修正させていただく。
- 委員：
- ・問 1 は男女平等に考慮して番号を削除したと説明があったが、上下でも序列がついていると思われるため、左右に配置する方がよいと思う。
- 委員：
- ・問 7、問13、問15で文化芸術の分野を並べているが、問によって項目が入れ替わっている。スペースの問題で変更していると思うが、統一した方が回答しやすいと思う。
- 事務局：
- ・順番を入れ替えて統一するように修正する。
- 委員：
- ・調査用紙の中でテレビ、インターネット、DVD等を示すメディアと、映画やコンピュータや映像を活用したアート等を含む分野としてのメディア芸術があると混乱してしまうのではないか。
- 事務局：
- ・注釈や解説にある媒体としての「メディア」を削除し修正する。

- 委員長：
・事務局からスケジュールを説明してほしい。
- 事務局：
・委員会での修正を踏まえ、調査票の確定版は発送前に委員の皆さんにお送りする。整
い次第早めに送り、約2週間の調査期間をとる。締め切り1週間前にお礼と督促を兼
ねたはがきを送ることを予定している。到着したのから順次、入力・修正し、次回
の委員会の際にできる限り報告させていただく。
- 3 文化芸術に関心のない人を主たる対象としたアンケート調査（案）について
・事務局より、前回からの修正事項について説明。
- 委員：
・Bグループの要件のなかに誤字がある。
- 委員：
・関心のない人には、文化芸術の他に何に関心があるのか聞いてみたい。
- 事務局：
・アンケート設問の内容としては、次期計画策定にあたって課題を把握し、施策に反映
することを重視している。設問数が増えれば回答者の負担にもなるため、的を絞った
設問にすべきであると考えている。
- 委員：
・設問を増やして欲しいわけではないが、理由を尋ねるようにはできないか。
- 事務局：
・問3で文化芸術を文化施設等で鑑賞することを大切だと思わない理由は聞いている。
- 委員：
・観賞・体験をしないだけでなく、根本的に文化芸術自体に関心を持たない理由を知り
たい。
- 委員：
・市の財政予算の配分もある中、関心のない人が文化芸術以外の他の分野に関心がある
のかを確認しても良いのではないか。
- 委員：
・文化芸術にかかわる自分たちにとって関心を持たない人の嗜好は知りたいので、一理
あると思う。
- 事務局：
・他の分野に関心のある方をどう文化芸術に関心を持たせるのかにつなげることになる

と思うが、それが見いだせることができれば設問に意味もあると思う。本当は関心があるものの、時間などに制約があるためできていない方に対しては、アプローチの仕方もあると思うが、全く関心のない人に目を向けさせるのは非常に難しいことだと思う。

○委員：

- ・自由記入欄を設け、関心のない理由等を書いてもらうことで対応できるのではないか。

○事務局：

- ・前回の委員会でメディアを通じた鑑賞の有無についてご意見いただいた事を踏まえ、市民アンケートと同様に問6を追加している。メディアでも「全く鑑賞しない」を選んだ方は問3の文化施設等での鑑賞・体験を大切に思わないにも該当すると考えており、設問をかけ合わせることで、関心がない理由についても補えると考えている。詳しい内容については、問3の異なることを大切にしているからの項目に自由記入欄を設けることで対応したい。

○委員：

- ・郵送調査で「メディア」を外すという話があったが、モニター調査もそうか。

○事務局：

- ・同様に修正させていただく。

○委員：

- ・関心のある人、ない人で200名ずつを回収するということだが、どのように判断して決めるのか。

○事務局：

- ・現時点では問2「文化芸術を文化施設等で鑑賞・体験することを大切だと思うか」と問4「実際に過去1年間で鑑賞・体験したか」の組み合わせで関心の層を分けたいと考えている。Bの「文化芸術に関心のない層」については、「文化芸術の鑑賞・体験を大切だと思わない方」ないしは「過去1年間で文化芸術を鑑賞しなかった方」を想定している。モニター調査は設問の途中で回答状況を確認できるようにしており、前半の文化芸術への関心の度合いによって、関心のない方の回答が十分に得られるのかを確認して後半実施するため、想定している数が異なった場合は条件を変更することで調整したいと考えている。
- ・さらに設問によって関心の度合いをより細かい層で分類しながら、より詳しい分析をしたいと考えている。

○委員：

- ・個人的には関心のない人よりも、文化に触れられない人に触れられるようにすることが大事なのではないかと思う。そこに対して利便性を高めるのが行政ではないか。

○委員：

- ・今の意見もこの調査で可能になると思う。文化芸術に触れられない人が抱えている課題は設問によって明らかになるため、その課題に対応して施策を考えるは次の段階である。
- 委員：
 - ・文化芸術の活動をしていると集客に苦勞するため、利便性を高めて、文化芸術に触れられなかった人を繋げてもらえるとよい。
- 事務局：
 - ・「関心があるができなかった」を選ぶことができる設問を設けているため、ご意見には対応できると考えている。
- 委員：
 - ・文化芸術については、行動だけで関心の有無を判断できるのか疑問である。
- 委員：
 - ・問 2 で大切かどうかを聞いている。さらに問 4 を掛け合わせることで関心がないというように理解し、納得できている。
- 委員：
 - ・「観賞したかったが、できなかった」人を、関心のない層にあてはめてしまうのは趣旨に合っていないように思う。
- 事務局：
 - ・ご意見は最もであるが、比較をするために回答者の比率を合わせることも必要だと考えている。しかし、この 2 つの分類のみで分析するのではなく、回答状況によっては関心のない層とする条件を厳しく設定するようにしたい。
- 委員長：
 - ・様々な意見が出ているが、今回の会議で調査が固まらなかった場合、スケジュールはどうなるか。
- 事務局：
 - ・今回の委員会で調査票が固まらなければ、アンケート調査を用いたクロス集計や様々な分析、他の調査等も遅れてしまう可能性が高い。
- 委員：
 - ・B の層を「あまり関心のない層」ぐらいにとどめておけばよいと思う。また問 2 は「3 わからない」は不明確であるため、除いてしまってもよいのではないか。
- 委員：
 - ・観賞することを大切だとは思わないが、活動だけしている人はどうなのか。ここで想定していない定義も多くあるのではないか。
 - ・問 2 では活動する側は含まれていないのか。文化施設など以外で鑑賞・活動している

人を除いて、行動だけで判断するのはどうなのか。内面的な関心に考慮せずに、関心の有無を分けてしまうのは非常に難しいと思う。

○委員：

- ・文化施設等での鑑賞・体験を大切に思うかどうかではなく、単純に文化芸術に対する関心の有無を聞いてはどうか。

○事務局：

- ・いただいている意見の対応として、関心の有無を直接訪ねる設問を設けたい。他の調査でも経験上、関心の有無を聞くと約8～9割の方が「関心がある」という結果となるため、残る1～2割の方では関心のない層の回答者数を確保するのが難しいと考えていた。関心の有無の設問を加えた上で、様々な関心の度合いを分析していきたいと考えている。

○委員長：

- ・様々な意見が出ており、暫定的な想定をした中での調査にはなるが、次回以降はアンケート結果による様々な分析も示しながら議論もできると思う。

○事務局：

- ・関心のない層に特化した調査自体が初の試みとなるため、他の例を参考に示すことも難しく、皆さんが完全に納得できる内容ではないかもしれないが、調査を実施する際にも、関心の有無についての条件を調整しながら実施したいと考えている。

○委員長：

- ・アンケート調査については、本日の意見を踏まえ、微調整について事務局に一任するというご了承いただけるか。

<全員承認>

4 「平成29年度 施策・事業評価（平成28年度分）」調査結果について

【基本方針1 施策5 様々な人が参加しやすい環境づくり⑤】

○委員：

- ・1-5-1で外国籍や障害者など、施策を縦割りにするのではなく、判断基準について検討した方がよいのではないか。今後LGBTに関わる対応等も考えられるため、柔軟な対応ができるようにした方がよいのではないか。

○事務局：

- ・現行計画の施策体系に基づく評価になるため、計画改定の際には外国籍の方や障害者、高齢者等に対応して、施策体系を変えていくことを検討できればと思う。

【基本方針2 施策1 活動者のニーズ把握⑥】

○委員：

- ・施策⑥は評価がBとついているが、改善するべき点はどのように考えているのか。

○事務局

- ・Bの評価については、昨年度よりも参加人数が減少していることによるものである。市民会館は市長表明があった通り、現建物はしかるべき次期に解体し、新しい施設を官民連携でどのようにつくっていくのかを考えていくことになる。市民会館利用者懇談会の意見をいただきながら、どのように反映していくかが課題である。

○委員

- ・市民会館は解体し、新しく作るということだが、時期はいつになるのか。

○事務局

- ・明確に決まっていない状況である。

【基本方針2 施策2 文化芸術の情報拠点の明確化⑦】

○委員

- ・市の施設に関しての情報拠点となっているが、公共施設で情報に触れる人は少ないので、市の施設以外でどう発信していくのかを考えるべきである。縦割りの組織のなかで考えないで、シティプロモーションの中で考えるべきことだ。次の施策中にある2-3-1も同様のことが言える。

○副委員長

- ・評価内容について気になることはないか。

○委員

- ・市が保有する屋外掲示板はどこが担当しているのか。

○事務局

- ・秘書広報課である。

○委員

- ・市民の立場で活動しやすい環境について、掲示板の使い勝手が悪いと感じている。ボランティアやチャリティ要素があれば使用できるが、商業的な要素があると使用できない。掲示板の設備も古く、雨ざらしになっている、使い勝手や設備面の充実も検討してもらいたい。

○委員

- ・場所によるかもしれないが、再点検してもらいたいということである。
- ・公民館の情報発信は評価Cだが、公民館には職員も少ないので難しいのか。

○事務局

・最近、公民館のホームページの活用を図っているようである。

○副委員長

・評価がCだったことを踏まえて新しく取組んでいることかもしれない。

【基本方針 2 施策 3 文化芸術を発信する機会・環境の提供⑧】

○委員

・公民館に情報誌等を置きに行くことがあるが、整理されている場所もあれば、乱雑に置かれているところもある。分かりやすく整理整頓してもらえるとよい。

○委員

・棚にたくさんチラシが置いてあるが、見やすい置き方を工夫してもらえるとこの要望と受け止めてもらいたい。

○委員

・2-3-1の「活動場所の充実を図る」で練習場所や発表場所の最適化とあり、ストリートパフォーマンスなどが取り上げられているが、自分が公園を映画撮影のロケに使いたいと考えたところ、使用料が高く、自主制作をしている人には厳しい条件だった。ロケをすることで街の景色が広まることはシティプロモーションにもつながるため、活動の実態や条件面の整理をして、利用しやすいようにした方がよい。

○事務局

・ロケ地の仕様の場合は、産業振興課の担当となるが、市では明確に定義がされていない。

○委員：

・若い世代による地域での活動を支援するためにも、条件を見直していただけるとよい。

○委員：

・産業振興課やみどり公園課等も巻き込みながら、前向きに検討していただきたい。

5 その他

○事務局：

・次回第5回委員会は1月15日（月）同じ場所での開催を予定しており、アンケート調査の状況などについてご報告する。

以上

《閉会》